

第6章 わたしたちの取り組み

これまでに習ったことを生かして、日常で起きる問題について考えてみましょう。

<問題1>

ある日、藤君は妹（小学1年生）と一緒に公園に遊びに行きました。

妹がカンをポイ捨てしたので、捨てちゃダメだよと注意すると、「どうして捨てちゃいけないの？」と聞かれ、うまく答えることができませんでした。

妹がわかるよう、どう説明したらよいか考えてみましょう。



困った時のアドバイス

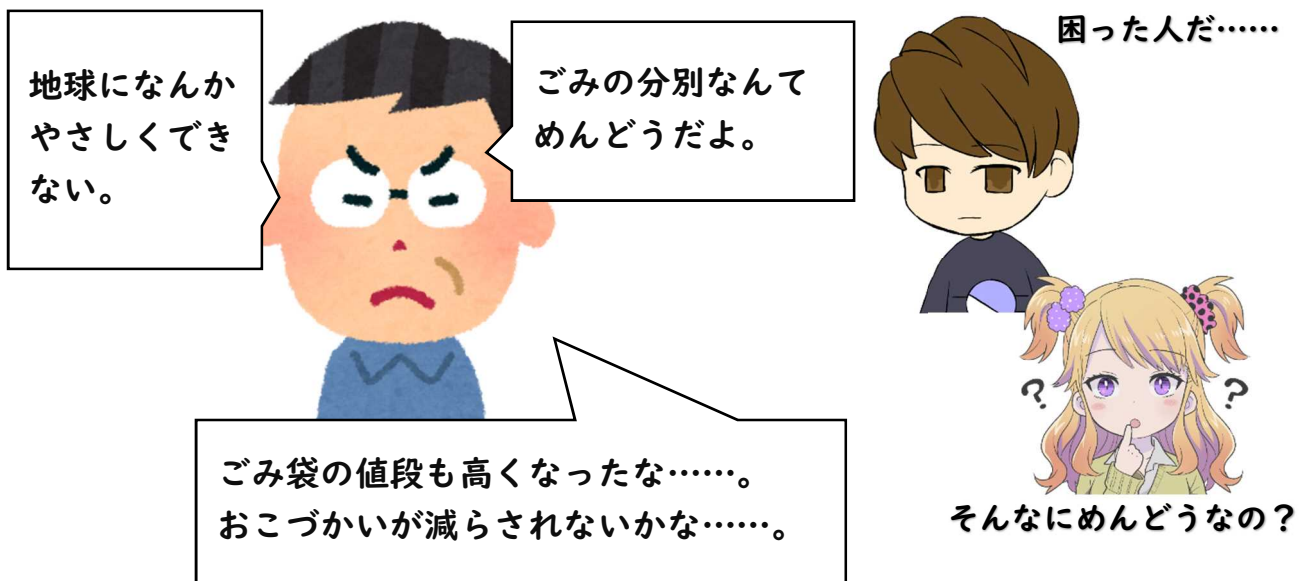
- ①いけない理由を、思いつく限り書いてみよう。
- ②妹の言っていることと、いけない理由を見比べて問題はないか考えてみよう。
例：法律違反だから→ポイ捨てした子は逮捕された？
- ③他の子の意見を聞いて、妹がわかるよう説明してみよう。

<問題 2>

環境を守るため、藤君はまず、ごみの分別を^{てっぺい}徹底しようと家族に相談しました。

妹、お母さんは協力すると言いましたが、お父さんだけ「めんどうだからイヤだ」と^{こと}断わってきました。

藤君はお父さんにも協力して欲しいと思っていますが、どう言えば良いかわかりません。考えてみましょう。



アドバイス

- ・ごみの分別は、やったことがない人にはめんどうな作業かもしれません。無理してやっても、長続きしないかもしれません。
- ・ごみの分別といっても、水洗いをして乾かし、きれいにしてから出す食品トレイなどのプラスチック類と、折りたたみしばるだけの新聞紙とでは作業時間は違います。やれることから順番にやっていくのも方法の一つです。
- ・お父さんがどうしたら協力してくれるかを、考えてみましょう。ほかの家族に協力を求めるのも一つの方法です。

<問題 3>

蓮子ちゃんの家は最近、野生動物に畑の作物を食べられ困っていたので、市役所に相談し、手続きをした上で捕獲用の檻を設置しました。

後日、檻に野生のアライグマが捕まっていました。

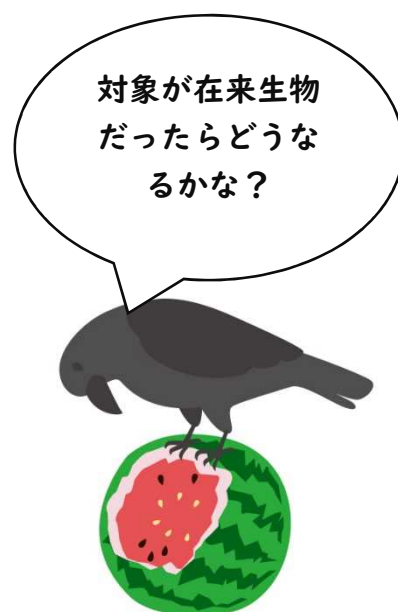
このあと、蓮子ちゃんが取れる行動について、次の選択肢の中で望ましくない選択肢があります。何がいけないのか、どうしていけないのかの理由を考えてみましょう。



環境省より提供



- ① 動物の駆除業者くじょぎょうしゃさんに電話し、引き取ってもらった。
- ② 可哀想かわいそうなのでその場で逃がしてあげた。
- ③ 可哀想ひがいだけど被害も出ているので、人がいない、よその土地まで運び、そこで逃がしてあげた。
- ④ 人懐っこい子ひとなつだったので、そのままペットとして、家で責任を持って飼うことにした。
- ⑤ 市役所に相談し、その指示に従った。



<問題 4>

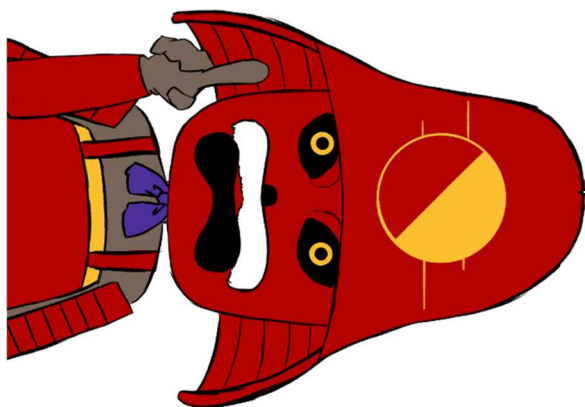
近年、海でクラゲが大量に増えて、毒クラゲに刺されるなど海水浴場で被害が出たり、魚が取れなくなり漁師さんが困っていたりします。

実はクラゲが大量発生する原因は地球温暖化が理由だと考えられています。どうしてクラゲが増えてしまったのかを考えてみましょう。



ヒント

- ・クラゲを食べる主な動物（天敵）にウミガメがありますが、地球温暖化、海洋プラスチックごみ問題等で数を減らしています。
- ・クラゲはプランクトンや魚の稚魚（赤ちゃん）を食べています。プランクトンは海の温度が上がったり、汚れた排水で大量発生することがあります。（赤潮）
- ・クラゲは人が食べることができる種類は少なく、ほとんどのクラゲは食べられません。



クラゲ以外にも、地球温暖化が原因で熱帯地域の蚊が日本で増えて、感染症が心配されるケースもあるよ。

<問題 5>

藤君は環境を守るため、家族と一緒に家庭でどんな取り組みを行うか話し合い、やることを取り組み表にまとめ、一覧を作りました。

自分たちの家庭でこういった取り組みを行うか、自分の家庭用の取り組み表を作ってみましょう！



けいぞく

継続は力なり！

たくさんのことに取り組むよりも、毎日やり続けていくの方が大事なんだ。取り組むことを決めたら、それが本当にやり続けられるかも考えてみよう！

藤君がやる取り組み表

必ずやること	気をつけること
①ポイ捨てはしない	①買い物に行くときはマイバック
②妹がポイ捨てしたら注意する	②買う時は、環境マークを確認する
③食べ残しをしない	③食材はなるべく地元のものをかう
④可燃ごみ袋に不燃ごみを入れない	④暖房は 20℃、冷房は 28℃にする
⑤電気をつけっぱなしで寝ない	⑤お父さんのごみ分別を手伝ってあげる
.....	



<問 6>

藤君、蓮子ちゃんは身近にある、さまざま環境問題を解決していくために、自分ひとりでできること、家族でできることをこれまで考えてきました。

そして、羽島市全体としては何かできないかを考えてみました。

学んだことを活かして、こういった対策ができるか考えてみましょう。



ほかの市の取り組み事例



<長野県松本市>

食品ロスを
テーマにした
児童向けの
絵本を作成

もったいないぞう



<福岡県北九州市>

2022 年度から
市立中学校における
学校給食の
牛乳パックの
ストローを廃止。

年間約7+のプラスチック
ごみを削減！